

11月1日(土)市民活動まつり活動報告

さる11月1日(土)長岡市大手通歩行者天国にて市民活動まつりが開催されました。

わが安全士会からは、大会実行委員長に広川会長が就任、実行委員として私含めて3名の安全士が担当し、9:00から開始した会場準備(安全士会用のブースの設営、中央特設ステージの設営)に汗を流しました。朝方は雨交じりの曇り空でしたが、開会の際には秋晴れの晴天に恵まれ、絶好のまつり日和となりました。安全士会員も続々と集結し、総勢20名が参加し、まつりを盛り上げていただきました。

開会宣言の後、保育園児による元気なそして可愛らしい音楽隊の演奏で開幕です！



安全士会のブースでは、まつり及び防災活動に関する市民アンケートを積極的に展開し、アンケート回答いただいた方々には、協賛していただいた大塚製薬さんから、カロリーメイトロングライフ(長期3年間保全可能、2本入りで200kcal)をプレゼントさせていただきました。(残念ながら、私は全体の事務局の業務にて、ほとんど安全士会のブースには滞在できませんでしたが、会の皆さんが積極的に市民に声かけし、多くの



隣接するブースでは、長岡消防署の救命講習会や白バイ・パトカーの体験乗車などが行われており、また、長岡市の行政・防災拠点となる平成23年完成の新市役所シティーホールの模型展示もありました。市民の皆さんから、シティーホールへの思い、未来の長岡の希望・夢を色とりどりのマジックペンで寄せ書きされ、参加された市民の写真の切り抜きをコミカルにパネルに添付している光景はアットホームでとてもいいイベントだと感じました。福祉・教育を含めて、このシティーホールが市民の皆さんによって、成長し活性化され、長岡全域にそのエネルギーが広まることを期待しています。

(私の兄弟は東京文京区で生活していますが、文京区はあるビジネス誌で全国主要都市805において、もっとも安心して生活できる町第1位だそうです。高度な教育、福祉含めて、長岡も追いつき、追い越してもらいたいですね！その意味でも、シティーホールにおいて、各種カルチャースクール、市民大学、周辺の大学のサテライト授業など、小林虎三郎の精神で、学びの場を提供して積極的な考えの市民の皆さんを、この大手通りにもっと足を運んでもらえるような仕掛けが必要と考えます)



会場を盛り上げてくれたのは、我々や事務局だけではなく、長岡市市制100周年と市町村合併を祈念して長岡青年会議所が誕生させたNewヒーロー「ソイガイヤー」、2009年の新潟トキめき国体のマスコットキャラクターの「トッキッキ」も駆けつけてくれました。子供たちが長岡の中心市街地でこのように楽しく過ごせるイベントがもっと増加してくれると、長岡の町も更に活性化するのですが、ソイガイヤーそして安全士会

